



開講式風景

令和8年度城山公民館成人学校が4月に開校しました。本年度は全22講座でスタートしました。今年も向学心に燃えた多くの受講生が当館に集っています。

城山公民館成人学校 開校

生活に潤いを与える学び

ちと心通わせることで、より充実した人生を過ごすための一助となりますことを願っております。

そして、成人学校には三つの喜びがあると言われています。それは、学べる喜び、学べる時間のある喜び、多くの方と知り合える喜びの三つです。そんな喜びが得られる楽しい成人学校ライフを送ってみませんか。

なお、定員に余裕のある講座がありますので、皆様からのお問い合わせやご見学を随時受け付けています。この館報が受講のきっかけとなり、それらの喜びを知っていただけたら、幸いです。

(館長)

私の成人学校在籍期間は、確か十三年にもなるが、腕は上がらずとも毎回新しい学びや発見がある。素晴らしい講師陣と愉快なクラスメイトに恵まれて飽きることは無い。気遣いせずに、生徒同士が教えあつたり教えられたりの時間も成人学校の良さか。来年の長野市風景画展には何を描こうか、どんな賞を狙おうか(笑い)……こんな不埒な目論見は胸に仕舞って、今日も筆を執る。



花岡 武雄

講座を受講して

静まり返った教室で、あるいは緑の木陰で息をこらして絵筆を走らす。キャンパスに狙った構図、思いどおりの色が付くと独りニンマリ。絵画の魅力にハマった仲間達との二時間はあっという間に過ぎていく。

「洋画」



徳武 正代

「ウクレレのある生活」
講座を受講して

私は37年務めた事務仕事を退職後、新しいことに挑戦しようと美術大学で染織を学び、草木染や機織りを楽しんでいます。もう一つ、ボサノヴァを弾いてみたいと思



いウクレレの練習を始めましたが、独学では無理と気づき、成人学校のグループレッスンに参加しました。練習日に講座の皆さんとお会いするのが何より楽しみです。取り残されないよう毎日？練習に励んでいます。

講師の大門先生は、私たち全員が誰一人置いていかれないよう、丁寧に教えてくださいます。ウクレレを弾くには、楽譜を見て理解し指を動かさなければなりません。先生の大きな手拍子に合わせて弾くのは、日頃のんびり過ごしている私にとって大変な緊張感ですが、認知症予防と思いき楽しく練習しています。

令和8年度

(6月現在)

城山公民館職員 公民館関係組織

館長 望月 勇次
係長 須田 公章
職員 金子みつ子
小川三枝子
高橋 孝子

▽第一地区分館

分館長 黒井 昭
分館主事 山口慶治郎

▽館報「城山」編集委員

編集委員長 萩原 道朗
山口 茂文
今井 一幸
鶴川 良平

▽城山公民館運営審議会委員

第一地区住自協会長

北村 高明

第一地区地域公民館連絡会長

小田切隆一

第一地区住自協元地域福祉

ワーカー 堀 佳代子

第二地区住自協会長

寺島 頼利

第二地区青少年健全育成

委員長 松田 愛絵

第二地区住自協教養文化部会長

井口 優子

公民館利用団体代表

村井 紀子

城山小学校長 塚田 智紀

柳町中学校長 藤木 拓道



特別寄稿 城山界限 地学散歩 ②

善光寺周辺の石垣

戸隠地質化石博物館

田辺 智隆



長野市街地の中心部は、裾花川の扇状地の上にあります。それに加え、長野盆地西縁断層の動きで生じた段差もあり、坂の多い地形となっています。そのため、市内の各所で石垣が多くみられます。今回は、善光寺の周囲の石垣を注目してみました。

周囲の石垣もいろいろな時代にくられたものがあり、その当時の技術や人々の思いを感じられるものがあります。

石垣を見ていくと、一番古いものと思われるのが、善光寺入り口となる横町通り沿いのものです。参道両側に高さ2～1.5mほどの石垣が東西方向に断続的に残っています。大きなまちな石が乱雑に積み上げられ、古いタイプの「野面積み」という技術で作られています。

善光寺は創建されてから一四〇〇年の歴史をもつ寺院といわれ、全国各地から多くの参拝客を集めてきました。しかし、長い歴史の中では地震や大火などの災害に襲われ、何度も修復が行われてきました。そのため、

ここでは、いろいろな石材が使われており、白っぽい色をした裾花凝灰岩や灰色や黒っぽい安山岩が見られます。含まれている鉱物やその顔つきから飯縄山の溶岩と判断できる石もあります。裾花凝灰岩の巨石が石垣に使われているのは、この周囲では珍しいことです。江戸時代になると、善光寺参道の敷石に使われている郷路山の石（館報城山166号参照）と同じ大きさに切りだし、隙間なく積んだ石垣となっています。

善光寺参道入口の石垣

石垣に使われている石の種類は裾花川の河原にあるものと同じで、裾花川沿いの石を運んだものと思われる。しかし、城山公園に建設された県立美術館造成時に地下からでてきた巨礫の例もあるので（館報城山189、190号参照）、善光寺を造成した際に掘り出された石かもしれません。



善光寺西側の築地塀

この横町通りの石垣と対象的な新しい石垣が善光寺の北西側にある築地塀の基礎となる石垣です。塀の建設時の銘板が残っており、昭和54年（1979年）建設のものでわかります。この築地塀は、湯福川の氾濫（館報171号参照）から本堂を守る目的もあり、道路の拡幅もあつて整備されたものと考えられています。この塀の基礎となる石垣は、地が灰白色で中に青みを帯びたレンズ上に融けた石

退任のごあいさつ

前館長 島田 安彦



地域の皆様には大変お世話になりました。

特に、『館報城山』で連載を始めた「街並み散歩」は、紙面づくりに悩んだ末の企画でしたが、取材で訪れた新町、新諏訪町及び東町の方々との交流は貴重な思い出になりました。

城山公民館に集う皆様のおかげです。ご健勝を祈念申し上げます。

.....

が入った溶結凝灰岩でできています。石の顔つきから松代金井山産の「柴石」です。それを乱雑に割り、「野面積み」のように積んだものです。石を割ったときのドリルの穴も見え、それはそれで趣が感じられます。

善光寺の境内や周囲の石造物には、石川県の緑色凝灰岩、栃木県の大谷石、浅間山の追分火砕流の火山弾など、各地のものが見られます。信仰や運搬技術の発達を感じられて石を見ているだけで楽しくなります。皆さんも善光寺参詣の際は、石にも注目してみませんか。

着任のごあいさつ

館長 望月 勇次



伝統ある城山公民館で4月から館長を務めております。

す。よろしくお願い申し上げます。

着任が決まり、城山公民館報をホームページで拝読し、歴代館長の大きな足跡と館報編集委員の皆様や投稿いただいた皆様、地域の皆様の生涯学習への熱い思いを感じているところです。

一つひとつ地域のことなどを学びながら、「つどい」「まなぶ」「むすぶ」を体現できる施設として、皆様に活用いただけるよう努めてまいります。

着任のごあいさつ

高橋 孝子

この度、ご縁をいただき城山公民館で業務をさせていただきますこととなりました。毎日善光寺に参拝をしながら通勤できる幸せと、新たな発見ができる楽しみとともに、大変歴史のあるこの地で皆さんと一緒にできる喜びを噛みしめております。新天地での挑戦となりますが、公民館活動、運営に少しでも貢献できますよう精一杯頑張ります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

シリーズ我が町 旭町 区長 滝澤 剛



私は、昭和57年8月に東京から長野市に移り住み、

縁あって旭町区民となりました。早いもので、44年の年月が流れ現在に至っております。この間、今は自立した三人の子供達を育て、年齢を重ねていく中で、その住み心地のよさを日々実感しています。

旭町の町名の由来は、西側にそびえる旭山からの説と、「旭」は昇る朝日、太陽の光、明け方に昇る日を意味する縁起の良い漢字であるとの説です。全国に百以上の市町村に旭町があるとのこと、おめで

たい町名であることは間違いありません。

その旭町が発足した年月日は不明ですが、明治7年の町名改称には旭町の名前が存在しており、154年の歴史を持った町であることは論を待ちません。

旭町を端的な言葉で表すと、「文教と歴史と静かで落ち着いたある町」と言えると思います。

明治初期に開設された、長野県教育の礎となった信濃教育会をはじめ教育関係団体や隣町の市立図書館は、老若男女の教育・文化や学習の場として貢献しています。また、憩いの場である「ひまわり公園」は桜や紅葉の景観もさることなが



ひまわり公園

ら、信号機を設置している交通広場として、小さなお子さんが交通ルールを学べる拠点ともなっています。

一方、町内に目を通しますと、地元で長く親しまれている和菓子店や喫茶・飲食店もあり、素朴であたたかな商店街らしい雰囲気も残っています。また、歯科医院や郵便局もあり、地域の皆様方の生活インフラとしての機能も有しております。

このような旭町ですが、時代の趨勢とは言え、ここ数年の少子高齢化は急加速度的に進展しています。平成15年（2003年）当時の、33世帯86人の住民から、現在は28世帯56人にまで減少しています。今から二、三十年前は、子供達とのどんと焼きや新年会を開催し、秋の妻科神社の秋季例大祭には、子供神輿や御神楽巡業、町内には会所を設営し懇親を深めてきましたが、今では思ひ出話となつてしまいました。温故知新、過去の歴史を見極めつつ、新しい町づくりを創造することは、我が町、旭町のみならず、これからの時代を担う若者への課題であると感じています。

折々日記
自然の「ゆらぎ」を
神社の境内で知る

萩原 道朗

ちよつと歩くだけで、汗ばむほどの陽気になって来ました。まだ若々しい緑の葉が陽ざしを浴びて優しく輝いています。そして、その木々を飛び交う野鳥のシルエットから「生命」を感じます。

もう初夏ですが、強い陽射しを浴びても、そよ風に気持ち良さを感じています。そして、湯福川の流れる音に誘われて眼をやると、2〜3羽の鳩が挙つて水遊びをしているかのようです。気が付けば、櫟の葉が優しくゆらゆらと揺れています。でも、神社の紙垂の動きとは異なっている。それらは一定のリズムではなく、夫々が別々に動いているだけ。つまり、各々が勝手に揺れているのです。

人は太古より、そんな自然のリズムを感じることで癒されてきました。それは自然がもたらす「ゆらぎ」の作用です。その「ゆらぎ」が疲れを取り去るのは、心に新しい気が入る余地を作り出すからです。つまり、人は自然のリズムからエネルギーを得ているのと同じ、そんな効果が神社の境内にもありました。

ご案内
今後の市民講座
お申し込みを
お待ちしております

癒しのお香
8月のお盆を前に、天然の香料を使ってあなただけの香りをつくりませんか？
コーン型（円錐型）のお香を揉み・作成します。

おかげさまで
【7月25日（土）にありました】

- 会場：城山公民館 本館 102教室
- 定員：12名（要予約）
- 材料費：2,500円
- 持ち物：筆記用具
- 申込み：城山公民館（平日） 232-3111

【講師】高橋 郁美さん
（お香の店 吉屋 店主）

サマアコンサート
♪♪♪にのしめるフルートの調べ♪♪♪

講師 杉山 由一氏（フルート奏者）
長年、音楽院でフルート科の指導員を務め、音楽・音楽教育の発展に貢献。現在は、長野市立城山公民館の音楽指導員として活動中。

8月18日（火）
14:00〜15:30 開場 13:30

会場：城山公民館 第二地区分館 2階音楽室
定員：35名（要予約） 前売券なし（当日入場はできません）
参加費：無料
持ち物：筆記用具
申込み：城山公民館（平日） 232-3111
申込開始：7月15日（水）から

お知らせ（予告）
旧蔵春閣解体工事始まる

永年親しんできた旧蔵春閣の解体工事が始まります。工事に伴い、公民館敷地内の駐車場が狭くなり、来館されても敷地内に駐車できないことが想定されます。その場合は、城山公園駐車場に駐車してください。なお、公民館利用者は事務所での認証により、2時間まで無料となります。2時間を超えると有料となります。ご理解・ご協力いただくようお願い申し上げます。



令和7年度 第48回 城山公民館成人学校作品展・学習発表会

毎年2月に成人学校の一年間の学習成果を発表する作品展・学習発表会を行っています。

今年は2月20日・21日の二日間にわたり開催しました。

期間中は多くの皆さまにお越しいただき、受講生が熱心に取り組んで制作した様々な作品や、練習を重ねたステージ発表等を鑑賞いただきました。

ご来館ありがとうございます。



火よる太極拳



水彩画初級



書道初級



楽しくソーイング



こころ華やぐキルト



たのしいハーモニカ教室



真子の楽しい英会話



太極拳



旧蔵春閣の解体工事が始まります。ここ城山の丘に2つの建物が建っていた思い出として撮影しました。(館報第172〜176号で蔵春閣について掲載しています。御覧ください。)

城山公民館
本館と別館
(旧蔵春閣)

あちこち
スナップ

新刊図書のご案内

くまぐまぐま	accototo
spring(another season)	恩田 陸
いぬがいた	丸山 誠司
カンザキさん	ピンク地底人3号
じゃがいも玉ねぎたまご	ワタナベ マキ
ゆるっとひと皿ごはん	橋本 紗和
あいつらの末路	真梨 幸子
激しく短く短い命	綿矢 りさ
初心者さんのためのかぎ針と棒針で編むマフラーと帽子	寺西 恵里子
あなたの命綱	久坂部 羊
くまだマークのまいにち	樋勝 朋巳

編集後記

新年度早々(4/18)に大町地方を震源とした地震が起きました。全国津々浦々で起きてます。北信地区で記憶に残っているのは2011年栄村地震・2014年神城地震です。どちらも亡くなられた方がおられなかったのは不幸中の幸いです。各地区での日頃の対応訓練が良かったのではないかと思います。小中学校では地震等の災害訓練を行っているようです。

私たちも災害意識を忘れず非常時対応に備えることが大切だと思います。今年度より編集委員として参加致します。(鶴川)

